

2025年3月期 中間期 決算概要

(2024年4月1日～2024年9月30日)

株式会社 精工技研

2024年11月15日

- I . 2025年3月期 中間期決算概要
- II . 2025年3月期 連結業績計画

I . 2025年3月期 中間期決算概要

II . 2025年3月期 連結業績計画

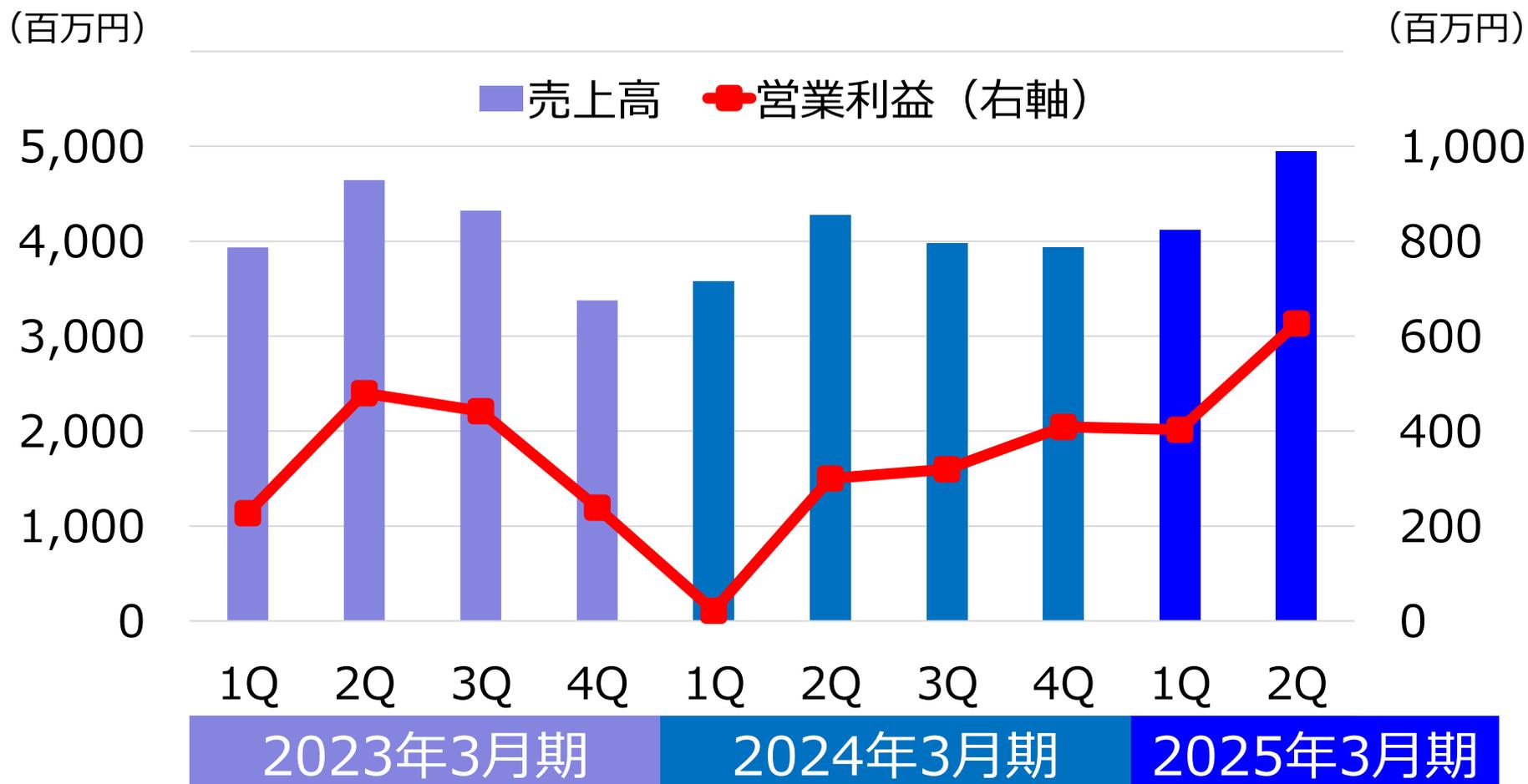
2025年3月期 中間期連結決算ハイライト①

(百万円)	2025年3月期 中間期	2024年3月期 中間期	対前期 増減率	業績計画値 (2024/5/13)
売上高	9,062	7,864	+15.2%	8,030
営業利益	1,030	322	+219.1%	450
経常利益	1,046	473	+120.8%	500
中間純利益	772	301	+155.9%	320

- 売上高は光製品関連が好調に推移し、中間期として過去最高に
- 収益性の高い製品が好調に推移し、利益は計画に対して大幅に上振れ

2024年3月期 中間期連結決算ハイライト②

■ 連結損益 四半期推移



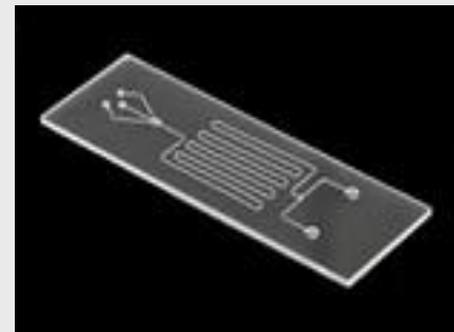
2025年3月期 中間期連結決算ハイライト③

(百万円)	2025年3月期 中間期	2024年3月期 中間期	対前期増減率
受注高	9,918	7,377	+34.4%
受注残高	3,633	2,084	+74.4%
設備投資	294	202	+44.9%
減価償却費	474	503	△5.7%
研究開発費	232	230	+1.0%

精機部門／主要製品・主要技術

◆ 成形品

車載用インサート成形品
 金属プレス成形品
 樹脂射出成形品 等



◆ 金型

アーカイブディスク用金型
 その他 精密金型



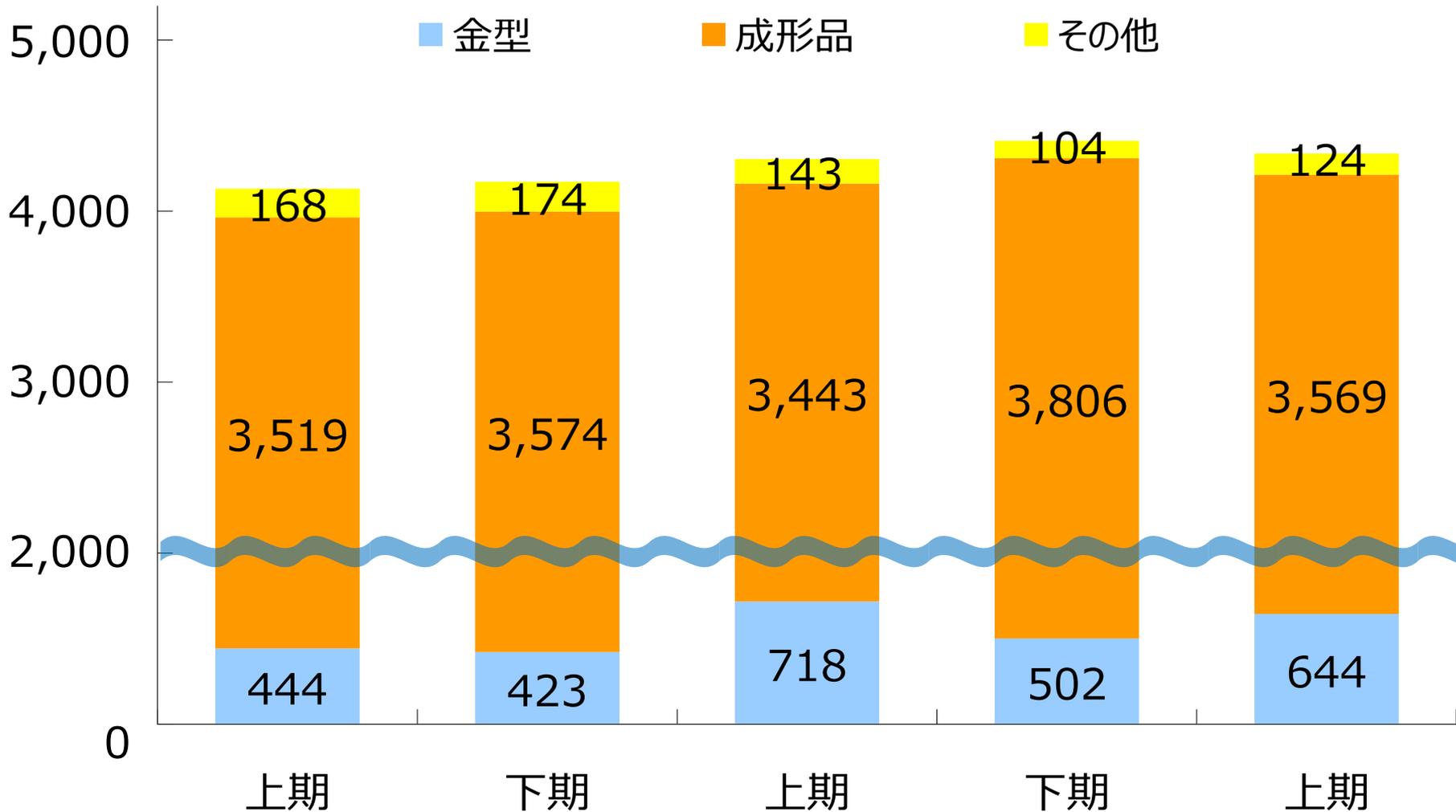
◆ その他

精密金属加工部品 等



精機部門／製品別売上高

百万円



2023年3月期

2024年3月期

2025年3月期

精機部門／セグメント業績

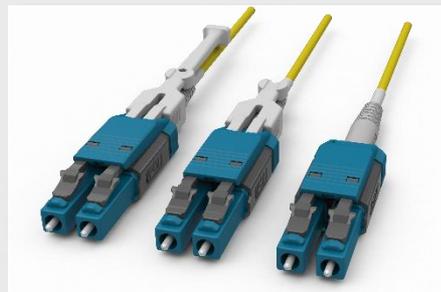
(百万円)	2025年3月期 中間期	2024年3月期 中間期	対前期増減率	業績計画値 (2024/5/13)
売上高	4,337	4,304	+0.8%	4,340
営業費用	4,148	4,095	+1.3%	4,090
営業利益	189	209	△9.5%	250
営業利益率	4.4%	4.9%	—	5.8%

- 車載用部品は、中国市場の低迷や認証不正の影響で売上が伸び悩む
- 金属材料の価格上昇や人件費の増加等により計画比、前期比で減益に

光製品部門／主要製品・主要技術

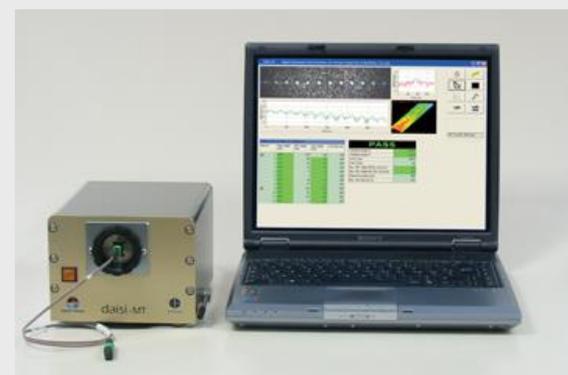
◆ 光通信用部品

光コネクタ
フェルール 等



◆ 製造機器・装置

光コネクタ研磨機
光コネクタ端面検査装置
光電界センサー 等

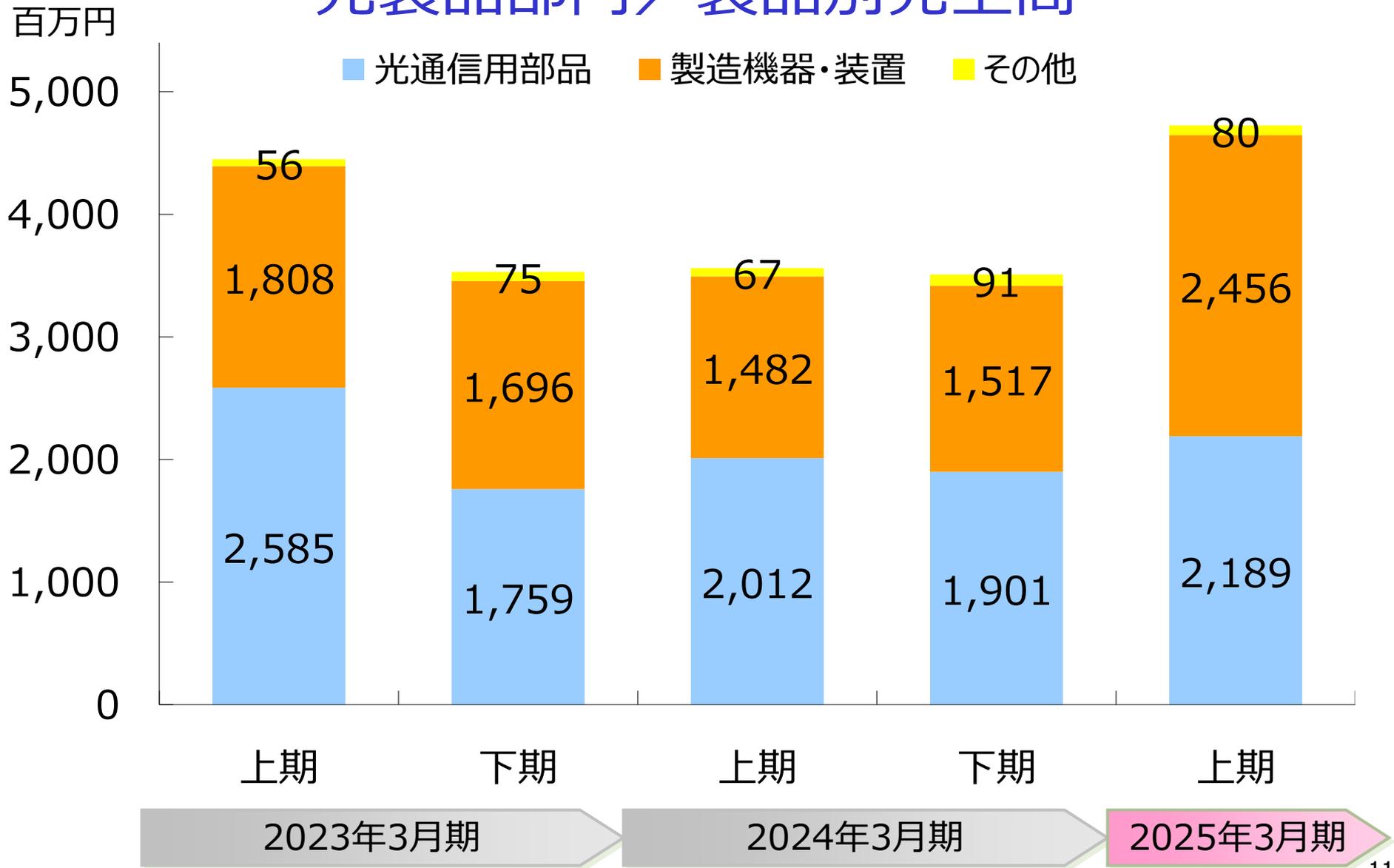


◆ その他

超小型レンズ 等



光製品部門／製品別売上高



光製品部門／セグメント業績

(百万円)	2025年3月期 中間期	2024年3月期 中間期	対前期増減率	業績計画値 (2024/5/13)
売上高	4,725	3,560	+32.7%	3,690
営業費用	3,884	3,446	+12.7%	3,490
営業利益	840	113	+639.4%	200
営業利益率	17.8%	3.2%	—	5.4%

- データセンター向けの光コネクタ需要増により機器・装置の売上が急増
- 機器・装置の売上増加により営業利益は計画比、前期比で大きく上振れ

連結貸借対照表

(百万円)

<資産の部>	2025年3月期 中間期	2024年3月期	増減額
流動資産	23,808	22,738	+1,069
固定資産	9,519	9,487	+31
資産合計	33,327	32,226	+1,101
<負債及び純資産の部>			
流動負債	3,768	3,425	+343
固定負債	1,454	1,614	△160
純資産	28,104	27,186	+918
負債純資産合計	33,327	32,226	+1,101

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2025年3月期 中間期	2024年3月期 中間期
営業キャッシュ・フロー	978	63
投資キャッシュ・フロー	△342	△1,250
財務キャッシュ・フロー	△504	△487
現金増減額	269	△1,554
期首残高	5,065	5,193
期末残高	5,335	3,639

2025年3月期 基本戦略

経済価値の最大化 ～事業の成長～

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

新製品・ 新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

社会価値の最適化 ～サステナビリティ～

経営基盤の強化

- 多様な人材が生き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

2025年3月期 上期事業施策

経済価値の最大化

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

展示会への出展強化



上期中に、国内外の展示会へ **8 回出展**

不二電子工業 や DATA PIXEL等、**連結子会社との共同出展も**
データセンター向けの光部品 や **自動製造装置** に注目が集まる

2025年3月期 上期事業施策

経済価値の最大化

新製品・新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

光コネクタの自動研磨装置をリリース



『SFPS-V1自動研磨装置』

省スペース、多品種、大外径ケーブル対応

研磨パッドの搬送から
光コネクタの端面洗浄までを機械化することで
顧客の **省人化** と **生産性向上** を実現

大手の光コネクタメーカーから **受注を獲得**

2025年3月期 上期事業施策

経済価値の最大化

ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持



を連結子会社化

◆ 基本情報 (2024年3月期)

主要拠点	宮城 2 工場 山形 1 工場
資本金	100百万円
設立年月日	1970年1月30日
社員数	131名
経営成績	売上高 : 2,341百万円 経常利益 : 574百万円



※ 経営成績は「収益認識に関する会計基準」適用前

**自動車や文具等の市場に向けて、プラスチック成形品や
プラスチックマグネット成形品を 24時間生産体制で安定供給
より 幅広い射出成形技術 と 高度な自動成形技術 を獲得**

2025年3月期 上期事業施策

社会価値の最適化

経営基盤の強化

- 多様な人材が生き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

働きやすい環境づくり



2024年9月、厚生労働省より子育てサポート企業として認定を受け
「くるみん認定」を取得

I . 2025年3月期 中間期決算概要

II . 2025年3月期 連結業績計画

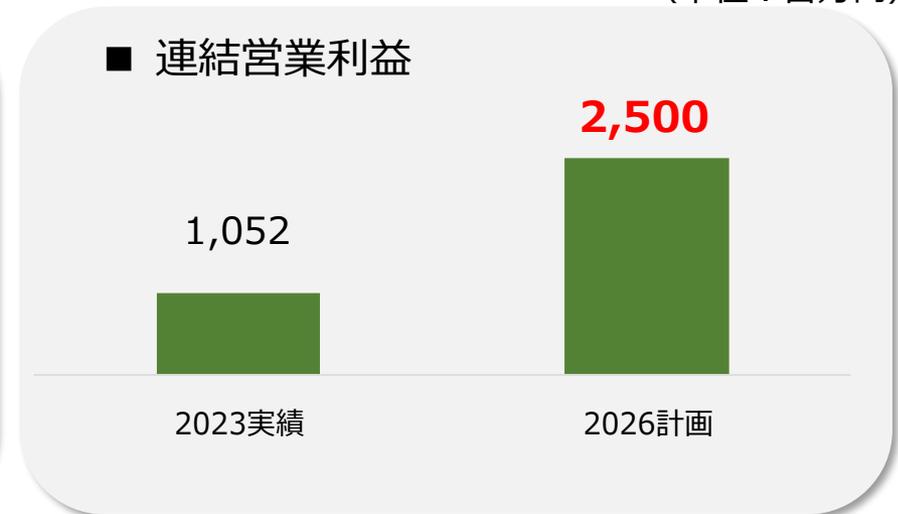
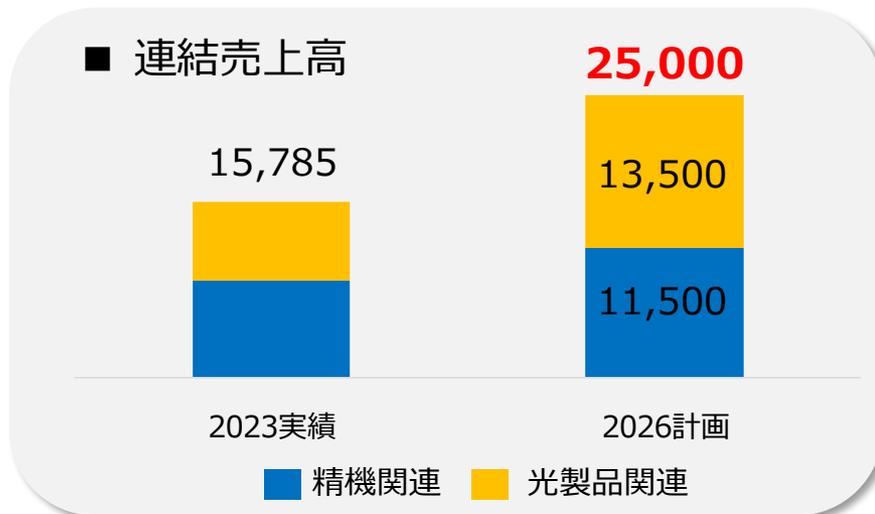


中期経営計画
マスタープラン2022
(2022年度～2026年度)

中期経営目標（損益指標） SEIKOH GIKEN

2026年度目標：売上高250億円、営業利益25億円以上

(単位：百万円)



(単位：百万円)	FY2023実績	FY2026計画	FY2023比
精機関連	8,716	11,500	132%
光製品関連	7,069	13,500	191%
連結売上高	15,785	25,000	158%
連結営業利益	1,052	2,500	238%
営業利益率	6.7%	10%	+ 3.3%

2025年3月期 連結業績計画の修正

(百万円)	上期実績	下期修正計画	通期修正計画 (11/11)	前期実績	対前期 増減率
売上高	9,062	8,938	18,000	15,785	+14.0%
営業利益	1,030	970	2,000	1,052	+90.1%
経常利益	1,046	1,004	2,050	1,269	+61.5%
当期純利益	772	728	1,500	761	+97.1%

- データセンター関連需要の強さは下期以降も継続
- 下期も引き続き「顧客接点の活性化」による受注・売上の確保に注力
- 開発案件の進捗管理を強化し「新製品・新技術開発の加速」を図る

部門別下期計画（精機関連）

(百万円)	上期実績	下期修正計画 (うちエムジー)	通期修正計画 (11/11)	前期実績
売上高	4,337	4,463 (400)	8,800	8,716
営業利益	189	251 (50)	440	664

顧客接点の活性化

新製品・新技術開発の加速

ものづくり力の強化

- ・ エムジー（10/25子会社化）との協業によるシナジー創出
- ・ 展示会への出展を強化し、新しい顧客との接点を増やす
- ・ 電気自動車向けコンプレッサ部品、インバーター部品の増産対応
- ・ マイクロ流路デバイス等、医療用樹脂成形品の開発加速
- ・ 型内塗装技術の商用化

部門別下期計画（光製品関連）

(百万円)	上期実績	下期修正計画	通期修正計画 (11/11)	前期実績
売上高	4,725	4,475	9,200	7,069
営業利益	840	720	1,560	388

顧客接点の活性化

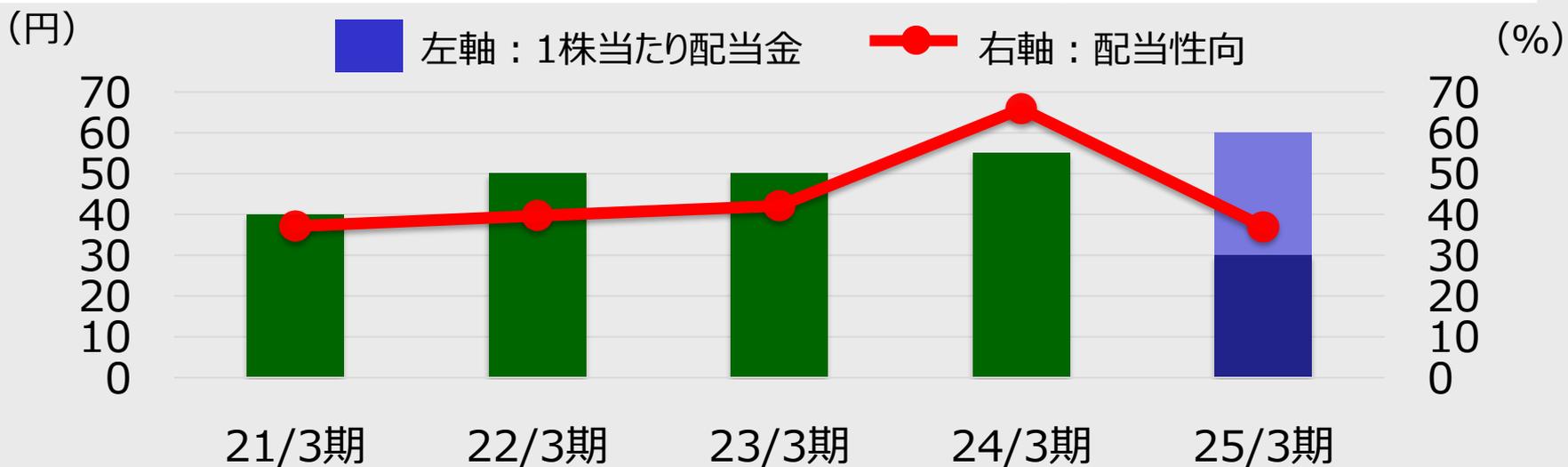
新製品・新技術開発の加速

ものづくり力の強化

- ・ 活性化しているデータセンター関連ニーズの着実な受注獲得
- ・ 顧客の生産性向上に寄与する自動化機能を備えた製品の開発・拡販
- ・ IOWN構想の軸となる「光電融合」を可能とする光デバイスの開発
- ・ 光コネクタ研磨機、測定器の生産キャパシティの拡張
- ・ SEIKOH GIKEN (THAILAND) の稼働開始

株主還元について

		25/3月期見通し		24/3月期 実績	23/3月期 実績
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	1,500		761	1,082
1株当たり配当金	円	中間	30	55	50
		期末予定	30		
配当性向	%	37.0		65.9	42.1



ご清聴 ありがとうございます。